



AI発展、ウェルビーイングを推進



日本ロボットシステム
インテグレータ協会
専務理事

高本 治明

99年(平11)早大政経卒。
16年から日本ロボット工業
会にてロボット導入実証補
助金の事務局を担当。18年
F A・ロボットシステムイ
ンテグレータ協会の立上げ
に関与。23年一般社団法人
化に伴い専務理事に就任。

■今、まさに時代の変革が
起きている

1990年代末にIT革
命が起き、現代社会は高度
に情報化された社会とな
り、人々の暮らしは大きく
変化した。そして今、次な
る変革が始まろうとしてい
る。これまでの社会は、

「情報」を人が「利用」す
ることで新たな価値が生み
出されていた。情報は直接
現実社会に働きかけること
ができなかったためであり、
このような社会では情報
を早く、うまく利用できる
人材が重要視された。

しかし近年、情報が直接
現実社会に働きかける技術
が発展し、社会が大きく変
わろうとしている。具体的
にはコンピュータ自身が
考えるAI（人工知能）技
術の発展であり、直接現実
社会に働きかけるための手
足であるロボット技術の発
展である。

これから訪れる社会で
は、情報をうまく利用でき
るだけの人材ではなく、情
報を理解した上で、ロボッ
トをうまく使いこなせる人
材が必須となる。このよう
な観点から、当協会では次
代のウェルビーイングを実
現するにはロボット教育が
必須であると考え、若年層
のロボット教育に力を注い
ている。

自律・自動化技術がカギ

■ロボットS I 検定

まず、これまではエンジ
ニア向けの試験のみであつ
たロボットS I 検定に若年
層向けの試験を追加する試
みを2024年から実施し
ている。

全国工業高等学校長協会
の全面的な支援の下、プレ
試験を実施し、25年2・3
月にかけて全国6カ所の工
業高校で100人の生徒に
受験いただいた。

ロボット教育の具体的な
目標ができたということ
で、高校の先生からも高い
評価を受けている。26年か
ら正式な試験を実施する予
定である。また、これに合
わせて検定試験全体のリニ
ューアルも行うっており、厚
生労働省認定検定を目指し
ている。

■ロボットアイデア甲子園
当協会では設立当初か
ら、高校生・高等専門学校
生のためのロボットアイデ
ア甲子園を開催している。
この大会は、生徒・学生が
産業用ロボットを使用した
システムを半日見学し、知
識を深めるとともに、新た
な「産業用ロボットを活用
したシステム」のアイデア
を提案しプレゼンテーショ
ンで競い合うというもので
ある。



福島県立平工業高校で実施したS I 検定

学生・働く人 ロボット教育加速

S I 検定・アイデア甲子園・リーグ戦

経済産業省、文部科学省
の後援を得て実施してお
り、毎年1000人程度の
生徒・学生が参加してい
る。ロボットというものを
身近に感じてもらい、ロボ
ット業界に興味を持っても
らうきっかけとして機能し
ている。

■ロボットS I リーグ

高校生ロボットS I リー
グは、全国の高校生を対象
とし、8カ月の期間に与え
られたテーマのロボットシ
ステムを構築して出来栄を
競う競技である。24年ま
では愛知県の主催で開催し
ていたが、25年からは当会
と愛知県の共催となった。
出場校の大半は授業時間内
にロボットシステムを構築
する形をとっており、授業
の一環としてロボットS I
を学ぶことができるように
なっている。

■ロボットS I 検定の国際
化

ロボットS I 検定に関し
ては、国際化にも力を入れ
ている。日本の検定を国際
標準とするとともに、国際
人材の育成にもつなげるた
めである。経済産業省委託
先・A O T S の支援を受け、
25年2月にタイ・バン
コクの安川電機、三菱電機
にてロボットS I 検定新2
級のプレ検定を実施した。
日本と同じ内容で実施し、
受験者18人中6人が最終合
格となった。9月にはタイ

労災防ぐアセッサ資格で安全推進

のフナツクにおいても実
施済みである。タイの政府
系職業訓練機関であるT G
I、タイのS I e r の業界
団体であるT A R A と共同
で実施しており、26年度以
降の自走を目指している。

■ロボット安全教育の整備
前述のような若年層への
ロボット教育や教育の国際
化を行うに当たり、当会
ではロボット安全教育の整備
にも力を入れている。ロボ
ットは決められた動作を行
う機械とは異なり、プログ
ラミングによりさまざまな
動きをするため、予期せぬ
動きをする危険性が高い。
ロボットが社会で受容され
るためには、

安全教育は必
須の条件とな
る。

日本では50
年前から産業
用ロボットが
普及してお
り、職場にお
ける安全教育
は労働安全衛
生法によって
規定され、制
度化されてい
る。

当協会ではロボット教育
を進めるとともに、利用時
の安全性にも十分に配慮
し、ウェルビーイングな社
会の創出に少しでも貢献で
きればと活動を行ってい
る。

日本ロボットシステムインテグレータ協会とは

一般社団法人日本ロボットシステムインテグ
レータ協会はロボットシステムを構築する企業
からなる業界団体で330社が加入している。本
協会の目的は、システムインテグレーターの事
業環境の向上や能力強化を図り、産業界全体の
生産性向上と競争力強化に寄与することであ
る。システムインテグレーター間や業界全体の
ネットワークの強化、ロボットS I 企業の事業
基盤の強化、教育・講習の企画運営や資格制度
の導入を通じた専門性の高度化を主たる活動内
容としている。

働く人の安全・健康・ウェルビーイング

昨年行われたロボットアイデア甲子園全国大会



2024 ロボットアイデア甲子園全国大会



ロボットS I 検定の国際化にも力を入れている（タイにおける検定）